

所信表明

6月7日、市長3期目の就任後、初の津市議会定例会の開会に当たり、前葉泰幸市長が所信表明を行いました。今号では、その主な内容を掲載します。所信表明の全文については、津市ホームページでご覧いただけます。

HP 津市 所信表明

検索

新元号「令和」が発表され、日本が新しい時代への第一歩を踏み出そうとする中、これからの4年間の市政を託してくださった市民の皆さまの期待を込めた想いを深く心に刻み、4月26日、3期目の初登庁をしました。

そして令和元年の幕が開けた今、新しい時代における津市がさらに発展し続けていくため、**津市の魅力を一層輝かせ、市民の皆さまの幸せな暮らしがさらに広がる市政運営**に全力で取り組んでいく決意を新たにしたところであります。



所信表明を行う前葉泰幸市長

平成時代の津市のまちづくり

平成23年4月、市長に初就任し、2期8年の間、「**郷土津市のために尽くす**」という初心を片時も忘れることなく、1期目は、10市町村が思い描いた合併後の新しい津市の基盤づくりを着実に進めてまいりました。2期目は、合併後10年という節目を迎える中で、新しい津市のあるべき姿を目指したまちづくりをほぼ完成させ、さらに、その上で市民の幸せのため、地域のために「**もっとできること**」に取り組んできました。

合併時に約束されていたことを一つ一つ実現するとともに、状況の変化に対応した施策や新しい市政展開に先駆けて踏み出した施策を推進し、新

しい時代を切り拓くためのまちづくりの土台を、私のまちづくりの原点である「**対話と連携**」の下、常に市民の声に耳を傾けながら築き上げてまいりました。

また、合併によって市民サービスを低下させないよう、合併のデメリットを最小限にとどめ、行財政の効率化により**財政の健全化**を保ちながら、合併前にはできなかった**大型事業**を実施するなど、合併のメリットを享受し、新しい一つの都市として発展してきました。顧みますと、それが平成時代の津市のまちづくりであったと言えます。

新しい時代の津市の姿

平成時代において合併後のまちづくりを成し遂げ、**都市としての強固な土台**を築き上げた今、私が目指す新しい時代の津市の姿は、**一人一人の人権が尊重され、市民の日々の生活、暮らしがより豊かで充実し、市民の笑顔があふれ幸せに暮らせること**です。

その目指す津市の姿の実現に向け、今後当面続くことが想定される少子高齢化を伴う人口減少を踏まえ、持続可能なまちとしてあり続けるため、新しい時代を担っていく**子どもたちのための政策**や**高齢者の健康政策**、また、**上下水道や雨水施設などの社会基盤の整備**に特に重点を置きながら、将来を見据え、**一步先を行く志**を持って市政に取り組んでまいります。

これからの4年間の津市政

これからの4年間で具体的に実行したいと思う、あるいは、事業化に向けた計画を立てたいと考えている取り組みについて、私が掲げることとしました3つの基本姿勢に沿って申し述べます。